

大人のための

子どもの未来応援講座

参加費
無料

これからの子ども支援

明石で私たちができること

日時 **9月7日(金)** 13:30 ~ 16:30

場所 パピオス明石多目的ルーム
(明石駅前ビル5F) 定員:80名

私たちの周りに困っている子どもがいる...

実感として感じることは少ないかもしれませんが、でも、子どもの7人に1人が貧困状態といわれている日本で、明石も例外ではありません。今回は、いろいろな立場から、子どもの困りごとに真剣に取り組んでいる人たちにお集まりいただきます。明石の明日を担う子どもたちに、私たちができることを一緒に考えませんか？



基調講演



「子どもの現状と明石」 ～1500人アンケートから 見えてくるもの～

公益財団法人あすのば代表 小河光治氏

1965年、愛知県小牧市生まれ。大学卒業後、あしなが育英会に専従。神戸レインボーハウス館長などを歴任し、2015年3月に退職。同年6月、あすのばを設立し代表理事に就任。

パネルディスカッション

「これから必要とされる支援とは」 ～それぞれの立場からの報告と提案～

パネリスト



深堀 麻菜香氏

「子どもの立場から」

北海道札幌市出身・在住、現在大学2年生。高校生の頃より学習支援のボランティアをはじめ、あすのばのサポーターや訪問型学習支援・食事提供、子ども食堂など地域の子どもと関わる活動をしている。その他メディア出演・講演活動など。



佐野 洋子氏

「明石市という行政の立場から」

明石市福祉局こども総合支援部長
市民・健康部健康推進課長、こども未来部子育て支援担当部長を経て現職。
公務員の立場からこどもの貧困対策に取り組む。



村井 琢哉氏

「30年間活動を続けてきた立場から」

山科醍醐こどものひろば理事長
関西学院大学人間福祉研究科修了。社会福祉士。子どものころから、こどものひろばの活動に関わり、副理事長、事務局長を歴任し、現職。



小河 光治氏

「全国の動きを知る立場から」

公益財団法人あすのば代表



富ヶ原 淳子氏

「明石の子どもたちと接している立場から」

こどもサポート財団
こどもサポート財団立上げスタッフで、現在3か所のこども食堂の運営の中心スタッフ。高校2年生を筆頭に3人の子育てにも奮闘中。



津久井 進氏 **コーディネーター**

弁護士 明石こども財団 監事
公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン 監事、公益財団法人あすのば 監事。
子どもの権利の擁護、被災者支援、市民活動などに取り組んでいる。

申込: TEL 078-202-9890

一般財団法人こどもサポート財団
WEB: <http://kodomo-fd.org/>

主催: 一般財団法人こどもサポート財団

後援: 明石市・明石市教育委員会